

令和5年度仙南地域農地集積研修会
を開催しました

農地整備事業は、農地の整備と共にその農地の担い手となる高度経営体の育成を目的としています。事業の一環として、令和5年12月8日に、農地整備事業の実施地区及び計画地区の生産者を対象とした農地集積研修会を開催しました。生産者、関係機関の担当者など約80名が参加し、今年度は、「スマート農業」をテーマに、加美町にある「農事組合法人いかずち」佐藤代表理事から地域農業継続に向けた農地集積とスマート農業導入による作業の省力化について、大郷町の「有限会社薬師



高橋代表取締役と佐藤代表理事による講演



講話の話に引き込まれます

農産」高橋代表取締役からは、新規品目導入とスマート農業に対する期待と課題について、それぞれ取り組み事例をご紹介いただきました。管内では、事業実施地区が11地区あり、新たに担い手法人を設立して、高収益作物の導入を行いながら営農を始める地区も多く、参加者は、今後の農業経営の発展に向けてそれぞれ思い描きながら熱心に聴講していました。

【地方振興事務所 農業農村整備部】

丸森町にて「第4回沢尻棚田写真コンテスト」
が開催されました

丸森町大張地区の「大張沢尻棚田」を題材とする作品を募集した写真コンテストが、今年も開催されました。4回目となる今回は、町内外41人から計83点の応募があり、厳正なる審査の結果、第一席となる「特選」のほか、「大槻代表賞」や「大張りきり賞」「ユニーク賞」など13作品が受賞しました。

令和5年12月18日、丸森物産いちば八雄館にて表彰式が執り行われたのち、同所にて12月26日まで作品展が開催されました。また、令和6年1月15日から31日にかけては、宮城県大河原合同庁舎1階ロビーにて初めて入賞作品の展示が行われました。

大張沢尻棚田は、農林水産省から「つなぐ棚田遺産」にも認定された美しい石積み棚田であり、四季それぞれに風光明媚な景色を見ることができ、ぜひ足を運んでみてください。

【地方振興事務所 農業農村整備部】



大河原合同庁舎での展示



八雄館での作品展



集落協定の大槻代表による表彰